

日中友好環境保全センターの概要

○ センター設置目的

中国における環境保全事業の健全な発展と持続可能な開発戦略を促し、併せて日中両国民の友好と国際環境協力を促進すること

○ センターの研究・活動概要

- ・ 調査・分析等; 黄砂対策調査研究、酸性雨モニタリング、ダイオキシン分析
- ・ 情報収集・発信; 中国の環境情報の整理と HP への掲載 (日本向け)
- ・ 研修の実施; 現地国内研修、第三国研修等
- ・ 政策立案の支援; 循環経済政策、環境保護基準の制定、環境アセスメント制度 等

○経緯

1988年	日中平和友好条約締結 10 周年を記念して竹下総理と李鵬総理の間でセンター設立について合意
1990 年～1995 年	日本の無償資金協力 (105 億円) 及び中国政府の資金により、建物及び機材を整備
1992 年～1995 年	技術協力プロジェクト (フェーズⅠ) 技術系職員への運営・管理手法、環境モニタリング等の基本的技術の移転
1996年	日中友好環境保全センター開所
1996 年～2001 年	技術協力プロジェクト (フェーズⅡ) センターの研究機能、研修機能、モニタリング機能など、基礎的能力の構築
2001 年～2002 年	技術協力プロジェクト (フェーズⅡ・フォローアップ)
2002 年～2006 年	技術協力プロジェクト (フェーズⅢ) センターが中国の環境保全上の重要課題解決に指導的役割を発揮するよう協力
2006 年～2007 年	技術協力プロジェクト (フェーズⅢ・延長活動)

○ 組織

センター長 陳燕平 職員数;約250人

